

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612

鶏病研究会技術研修会が開催されました

鶏病研究会熊本県支部の技術研修会が10月2日に開催されました。新型コロナウイルスの影響で例年より遅くなりましたが、いつもより広い会場でコロナ対策を講じ、開催することができ、阿蘇家保からも「肥育後期肉用鶏のSalmonella Schwarzengrundによる死亡事例」という演題で話題提供を行いました。

また研修会後半では、マルイ農業協同組合の嘱託獣医師、高瀬公三先生をお招きし「養鶏分野におけるアニマルウェルフェアとその課題」についてご講演いただきました。普段の業務ではなかなか学べない内容ばかりで、実り多き研修会でした。



10月1日より家畜改良増殖法が改正されました。

改正により、以下の条件に当てはまる方は**家畜人工授精所の開設**が必要となりましたので、速やかに開設許可申請をお願いします！！

業務内容	実施者	開設
精液・受精卵の生産	獣医師・人工授精師	必要
	繁殖農家※自己利用の場合	不要
精液・受精卵の保管 ※販売又は他者の所有する牛に注入・移植するため	獣医師・人工授精師	必要
	繁殖農家	必要
精液・受精卵の保管 ※自己の所有する牛に注入・移植するため	繁殖農家	不要
繁殖農家の所有する精液・受精卵を 当該繁殖農家が所有する牛に注入・移植	獣医師・人工授精師	不要
	繁殖農家	不要

- 開設の許可申請をされる方は、申請書類等の必要書類や説明事項がありますので、人工授精事担当者までお問い合わせください。
- 10月1日以降に製造された凍結受精卵の保存容器（ストロー）、もしくはラベルに人工授精所の管理番号の記載が必要となります。
- 開設した人工授精所では、運営状況報告が必要となりますので、凍結精液・凍結受精卵の受払等の記録をお願いします。

群馬県におけるCSF（豚熱）の患畜の確認について

令和2年9月26日に、群馬県の豚熱（CSF）ワクチン接種養豚場における飼養豚においてCSFの患畜（国内59例目）が国内では約半年ぶりに確認されました。

また、国内の18都府県（福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府）においてCSF感染野生いのししが発見されています。

関係者の皆様におかれましては、引き続き飼養衛生管理基準遵守の重要性をご理解いただき、地域ぐるみで御協力いただくとともに、豚及びいのしし飼養農家への、農場内へのイノシシ等の野生動物の侵入や病原体の侵入防止、本病を疑う症状等が確認された場合の早期通報等、ご指導をお願いいたします。

（発生農場概要）

所在地：群馬県高崎市

飼養状況：一貫農場（飼養頭数：5,887頭）

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ	H5N5	台湾(3件)	地鶏	9月5日～9月12日
	H5N8	ロシア(1件)	家禽	9月11日
	H5	ロシア(7件)	家禽	8月14日～9月18日
ASF		韓国(30件)	野生イノシシ	9月1日～9月30日
		ロシア(66件)	豚・野生イノシシ	9月1日～9月30日
		ウクライナ(1件)	豚	9月1日～9月30日

令和2年(2020年)10月1日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国当局の2020年10月9日のプレスリリースによると、北朝鮮との境界付近に位置する江原道華川郡の養豚農場（940頭飼養）において韓国で15例目となるASFが発生いたしました。畜産関係者の皆様におかれましては、消毒や野生動物の侵入防止設備の点検等、改めて飼養衛生管理の徹底をお願い致します。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

